



KEIHIN CVK20 ビッグボアキャブレターキット

取扱説明書

商品番号 : 03-05-330
適応車種 : ホンダ Today
フレーム番号: AF61-1000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
当製品は、当社製 S - S t a g e ボアアップキット専用です。
車両の仕様、気候の変化等で、セッティングの変更が必要になる可能性があります。
当製品を使用すると、STDのエアーコントロールバルブは使用出来なくなります。



注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)



警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～商品内容～

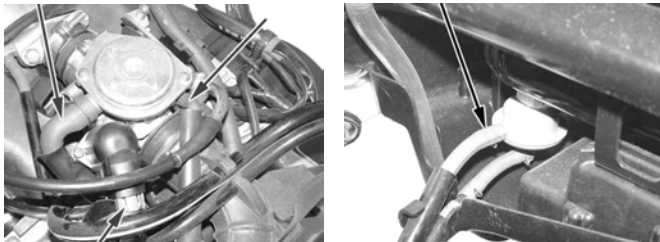


番号	商品内容	数量
1	キャブレターASSY.	1
2	メインジェット #80	1
3	キャップ 7mm	1
4	キャップ 9.8mm	1

～取り付け要領～

(取り付け準備)

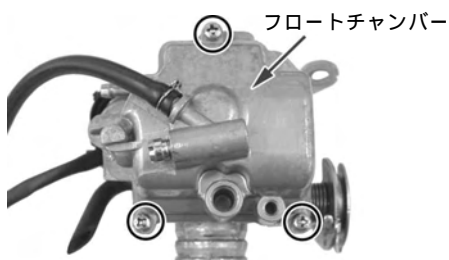
1. キット内容を確認します。
2. エンジン、マフラーが冷えていることを確認します。
3. 車両を安定させます。
4. ラゲッジボックスを取り外します。
5. ドレンスクリューをゆるめ、キャブレター内のガソリンを排出します。
受け皿を準備してガソリンがこぼれないようにして下さい。
6. 下記の部品の接続を外します。
バキュームピストンホース
エアリードチューブ
オートバイスターター2P(灰)カブラ
フューエルチューブ



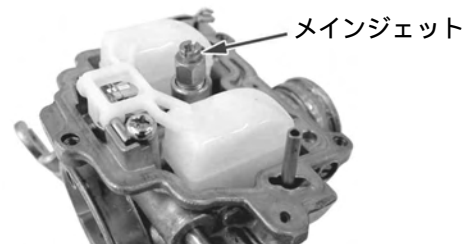
7. アジャストナットをゆるめ、スロットルケーブルをケーブルホルダーから取り外します。
スロットルドラムからスロットルケーブルの接続を外します。
8. バンドスクリュー2本をゆるめキャブレターをコネクティングチューブとインシュレーターから外します。
コネクティングチューブとインシュレーターを損傷しないように注意してください。

(メインジェットの交換)

1. キット内のキャブレターの3本のスクリューを外し、フロートチャンバーを取り外します。



2. メインジェットを取り外し、キット内のメインジェット#80を取り付けます。
キャブレターに付属していたメインジェットは使用しません。



3. フロートチャンバーを取り付け、スクリュー3本を指定トルクで締め付けます。
トルク: 2.1 N・m (0.21 kgf・m)

(オートバイスターターの組み換え)

1. STDのキャブレターから下記部品を取り外します。
オートバイスターターカバー
スクリュー
オートバイスターター
セットプレート



2. キット内のキャブレターからも同様に取り外します。



3. STDのキャブレターから取り外した ~ の部品をキット内のキャブレターに写真のように取り付けます。

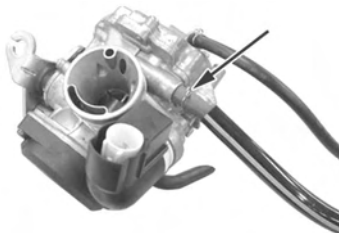


キット内のキャブレターに付属していたオートバイスターターは使用しません。

トルク スクリュー：2.1 N・m (0.21 kgf・m)



4. STDのキャブレターからフューエルチューブを取り外し、キット内のキャブレターに取り付けます。

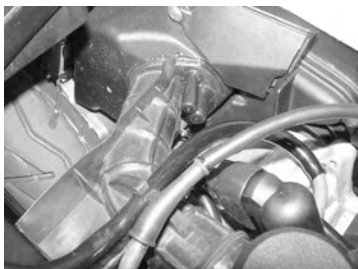


(エアクリナー)

1. 下記部品をエアクリナーケースから取り外します。
キャブレターバキュームピストンホース
エアリードチューブ



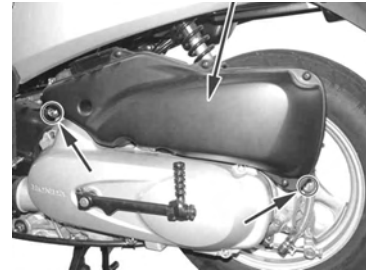
2. 1で取り外した部分にキット内のキャップを取り付けます。
キャップ7mmをエアリードチューブ取り付け部に、キャップ9.8mmをバキュームピストンホース取り付け部に、それぞれホンダボンドAまたは相当品のゴム系接着剤を塗布して取り付けます。



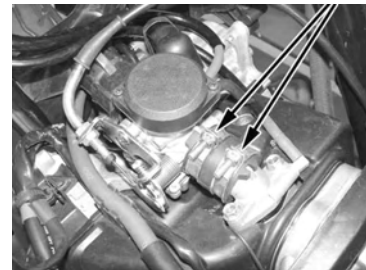
(キャブレターの取り付け)

1. エアクリナーケースを固定している2本のボルトを取り外します。

エアクリナーケース

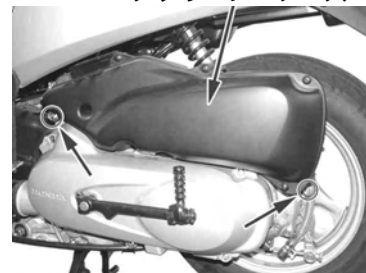


2. キャブレターをインシュレーターの突起に突き当たる位置に合わせ、インシュレーターとコネクティングチューブに取り付けます。
コネクティングチューブとインシュレーターを損傷しないように注意してください。
3. インシュレーターバンドを写真の位置に合わせ、インシュレーターバンドスクリューを指定トルクで締め付けます。
トルク：2 N・m (0.2 kgf・m)

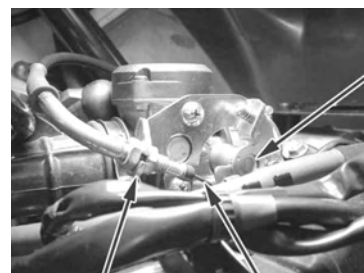


4. キット内のキャブレターはSTDより全長が短い為、コネクティングチューブを若干前に引きながら取り付け、コネクティングチューブバンドスクリューを確実に締め付けます。
5. エアクリナーケースを取り付け、ボルト2本を指定トルクで締め付けます。
トルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)

エアクリナーケース



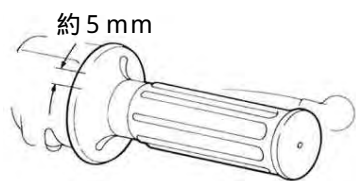
6. スロットルケーブルをスロットルドラムに接続し、ケーブルホルダーに取り付けます。



スロットルドラム

ケーブルホルダー スロットルケーブル

7. スロットルグリップ部で5 mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。



8. スロットルを数回スナップさせ引っ掛かり等を確認します。ステアリングを左右いっぱいにした状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

9. フューエルチューブを取り付けます。
チューブ、ホース類は正しく通して下さい。

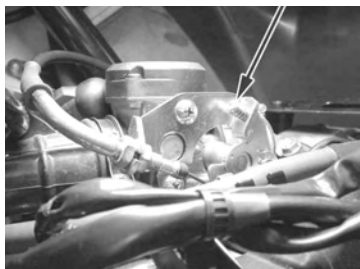


10. オートバイスターター2P(灰)カブラを取り付けます。

(組み付け後)

- 最後に各部の組み忘れ、ネジの締め忘れをチェックします。
- エンジンを始動させます。エンジン暖気後アイドルリングしない場合や、アイドルリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

スロットルストップスクリュー



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

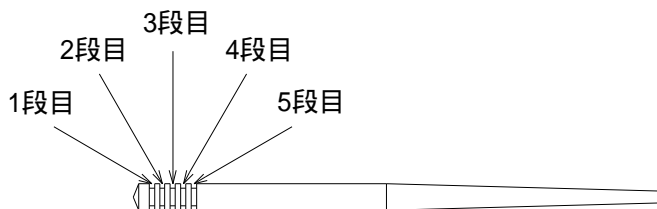
キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にもまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857